

# 三間飛車 駒組みの考え方

## 三間飛車のメリット

- ① 左銀を 67 銀・57 銀と選択することができる(46 銀型高美濃に組める)
- ② 居飛車側が三間飛車に苦手意識があることが多い
- ③ 石田流に組める場合がある
- ④ 三間穴熊にした場合 46 銀型にできる

## 三間飛車のデメリット

- ① 三間からは角交換しづらく、角交換されると飛車先が突破されやすい
- ② 角交換しづらいため、居飛車穴熊に組みやすい
- ③ へな急に対して 88 飛と受けに回らないといけない
- ④ 57 銀型・46 銀型にした場合、65 歩と角交換を迫られる可能性がある

## 三間飛車の玉の囲い

1. 美濃 2. 高美濃 3. 高美濃 + 46 銀 4. 銀冠 5. 穴熊 5. ミレニアム

## 居飛車穴熊対策

- 1)真部流 2)中田功 XP 3)トマホーク

## 岩手県の振り飛車強豪たち ※立花の個人的見解です

<K.T さん>(盛岡)

岩手で1番目に強く、昨年の全国アマ名人戦準優勝者です。昨年の東北六県代表者(岩手で大会成績優秀な上位3人が団体を組む大会)で、基本居飛車党ですが、後手番の時は相居飛車だと不利なので四間飛車ミレニアムを使用する両党使いです。

<T.I さん>(宮古)

岩手県で2番目に強い元々純粋な居飛車党でしたが今では三間穴熊も多用している両党使いです。

<A.F さん>(盛岡)

昨年の東北六県代表者で、純粋な振り飛車党でしたが、昨年から居飛車党に転向している両党使いです。

<T.K さん>(遠野)

昨年の岩手日報社王座戦準優勝者です。純粋な振り飛車党で、相振りも得意にしています。

<M.Y さん>(宮古)

一昨年のアマ竜王戦準優勝です。純粋三間飛車党で相振りの時も三間飛車です。

## 三間飛車の玉の囲い

### 1. 美濃

対急戦で使います。四間飛車と違い左銀が 67 銀、57 銀と使い分けれるので、相手が持久戦の時には 57 銀から 4 枚美濃を作ることできます。また、67 銀～75 歩～68 角～76 飛・・・と、石田流にも組むことが出来る場合があります。



### 2. 高美濃

対持久戦で使います。高さがある分広いですが、下が弱くなるので、47 金と 49 金を狙われると寄せが早くなってしまうので、注意が必要です。居飛車は 47 と 49 金を狙います。



### 3. 高美濃+46 銀(48 銀)

45 歩と位を取るなので、基本的には持久戦で使われることが多いです。

また、右図のように 48 銀型にして更に金銀を堅めて 46 角から 7 筋の飛車のコビンを狙う方法や、46 角～25 桂で端攻めするなどもあります。67 の地点は弱点です。



#### 4. 銀冠

銀冠にして上部を更に厚くする方法もあります。25 歩～24 歩で天守閣の玉頭や居飛車穴熊の 23 地点を攻めていきます。上部に強いですが、下が弱いのですぐ寄せられることもあります。



#### 5. 穴熊

三間飛車穴熊も有力です。四間飛車穴熊と違って左銀を 46 銀～37 銀と動かせるのが特徴です。振り飛車穴熊は 36 歩を突かなくても穴熊にできますが、37 に駒を埋めることや、37 角成とか自陣に引くことができるので 36 歩は突いた方がいいです。ただ、相手からも 37 香など打ち込むスペースがあるので注意が必要です。



#### 6. ミレニアム

振り飛車側がミレニアムに組むのも有力です。ミレニアムは右桂が攻めに使いやすいのと美濃より 1 段低いので上部からの攻めから少し離れているのが特徴です。





## 居飛車穴熊対策

三間飛車のデメリットに角交換しづらく居飛車が穴熊に組みやすいと書きましたが、四間飛車なら 68 飛 + 78 銀 + 65 歩で角交換されても同銀と飛車先を守ることができますが、三間飛車は角交換後に同銀と取れる形が中々なく、こちらから積極的に角交換を目指しづらい戦法です。その為、居飛車穴熊を組んでくることが多いので居飛車穴熊対策は必須です。三間飛車ならではの居飛車穴熊をいくつか紹介します。立花は真部流とコーヤン流を相手の駒組みによって使い分けています。

### 1) 真部流

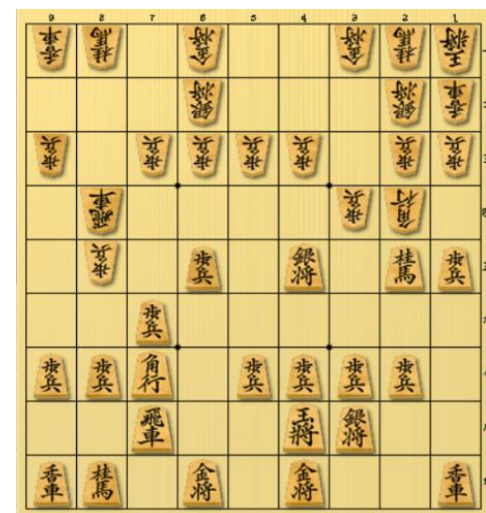
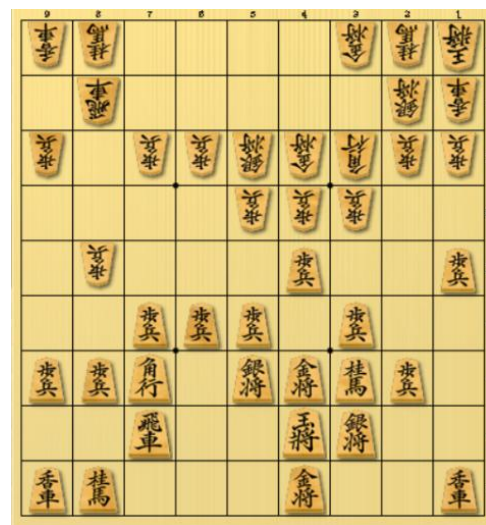
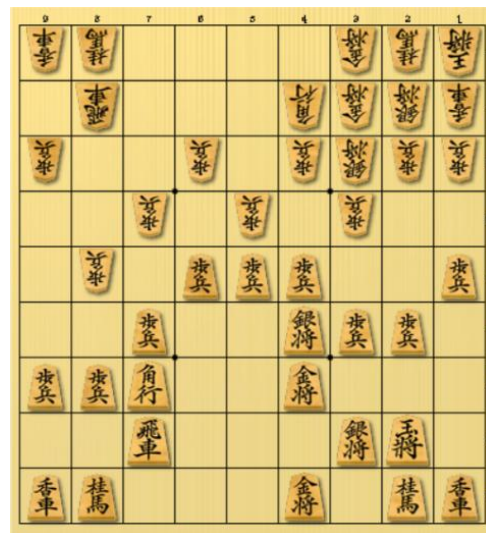
故・真部一男九段が考案した居飛車穴熊対策です。あえて居飛車の理想形である4枚穴熊を組ませて玉周囲に金銀をまとめさせます。三間飛車は高美濃 + 46 銀で右側に駒を集めて、65 歩 ~ 55 歩 ~ 55 角と飛車のコビンを攻めることや、58 飛 ~ 54 歩からと金作りなどで中央から居飛車穴熊を制圧するのが目的です。居飛車穴熊だけでなく、他の持久戦に対しても積極的に 46 銀型を目指し、中央から仕掛けていきます。成功すれば「穴熊の姿焼き」で快勝譜ですが、失敗すると4枚穴熊が堅いし遠すぎて泣きたくありません。立花が1番得意な形で基本的にこの形目指しています。なぜこの形を目指すかという、シンプルに形がかっこいいのと、現代将棋で4枚穴熊組ませるといふ発想がなく、居飛車は真部流をやられることがほほない為です。

### 2) 中田功 XP

コーヤンこと、中田功七段が「真部流」を進化させて、「4枚穴熊に組ませずに端攻めで居飛車穴熊を攻略する」戦法です。33 角・53 銀の時に 45 歩と突き、同歩なら同桂で両取りなので居飛車は取れず、そこに 46 銀と上がり、4 筋で手にした1歩で端攻めをするという積極的な指し方です。端攻めが狙いですが、コーヤン流では真部流同様に中央からの攻めも見ているので、居飛車の形によって 46 銀 ~ 55 歩 ~ 58 飛や 55 角で積極的に攻めていきます。真部流との大きな違いは 37 桂と跳ねるかかどうかです。桂を跳ねると千日手模様になった時にこちらが穴熊にできず、また、居飛車から 35 歩と桂頭を攻められるのと玉の下段が空くので、37 桂と跳ねるかかどうかを意識すると駒組みが変わってきます。

### 3) トマホーク

藤森先生の YouTube でもたまに出ますが、三間飛車トマホークです。藤井システムの三間飛車版で 17 桂 ~ 25 桂と積極的に端から攻めていきます。



## 三間飛車に対するへな急(風)駒組み

▲76歩 △34歩 ▲66歩 △84歩 ▲78飛 △85歩 ▲77角 △62銀 ▲68銀

△64歩 へな急風にして急戦を見せます。

▲48玉 △74歩 ▲38玉

△73桂 73桂を保留するのもあります。あまり早いと「対振り右玉」みたいになって三間飛車が暴れてくる可能性があるので注意です。

▲88飛 65歩からの仕掛けに備えます。88飛と寄らないと、△65歩、▲同歩、△77角成、▲同銀、△67角と打ち込まれます。

△42玉 ▲58金左 △32玉 ▲28玉 △52金右 ▲38銀 △14歩

▲16歩 これで三間飛車+美濃囲いの完成です。ポイントは左銀は68銀のままで65歩にいつでも同歩と取れるようにすることです。

△54歩

▲56歩 56歩を突かないと55歩と5筋の位を取られてしまいます。

△42銀 居飛車急戦の場合は42銀から組めます。オススメはここから天守閣・銀冠・穴熊などの持久戦に持っていく作戦です。

▲46歩 65歩に備えつつ美濃から高美濃を目指します。

△53銀左 ▲47金 △42金直 ▲36歩

△63銀 65歩の仕掛けが無理なので63銀と上部を厚くします。

▲67銀 △94歩 ▲96歩 △81飛 ▲37桂 △44歩

ほんの一例ですが、へな急風での急戦だとこのような展開になり、65歩からの仕掛けを封じることができれば玉の堅さで有利になりやすいです。

オススメは△42銀の所から持久戦に持って行き、三間(向かい飛車)から攻めづらいまま居飛車の玉を堅める方法です。

